

中国地域半導体関連産業振興協議会 第6回会合 意見交換要旨

〈サプライチェーン強靱化〉

- ・半導体業界は敷居が高く、取引を敬遠される傾向があるため、敷居を下げていく取組も必要（製造装置メーカー）。
- ・仕事が増えてきている中、協力会社の役割が重要。技術力の高い協力会社には技術者を派遣して、ノウハウの共有を図っている（製造装置部品メーカー）。

〈人材育成・確保〉

- ・九州の拠点では、人材が熊本県に流れている影響で採用に苦戦。自社ブランドがないので知名度を上げる工夫が必要（デバイスメーカー）。
- ・理系人材に限られる中、子供の頃から関心を持ってもらう取組が重要。地元小学生に親子で来てもらう活動もしている（デバイスメーカー）。
- ・人材確保と人材育成は重要な課題であり、最近では、中国地域の大学とも協力している。子供の頃から興味を持たせるような取組を、より一層実施してもらいたい（デバイスメーカー）。
- ・人材育成は中長期と短期の取組が必要。自動車と異なり、半導体は裾野産業が見えにくいいため、サプライチェーンの見える化や各社の技術の見える化をデバイスメーカーとしていくことも人材確保を進める上では重要（製造装置部品メーカー）。

〈協議会のあり方〉

- ・協議会への参画理由のひとつが人材の確保であり、重要だと感じている。必要な取組に対する予算確保とともに効率をあげていくことも重要（製造装置メーカー）。
- ・技術交流会では、普段話ができない方と意見交換できたことは重要であり、他の地域とも連携したいので、マッチングの取組を推進していただきたい（製造装置部品メーカー）。
- ・人材育成は、各分野の人材育成を分担しながら進め、下の裾野からの展開、若年層の人材育成が大切。関係者を増やし、教育委員会との連携を強めてほしい（教育機関）。